

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 66	提案機関名 環境農政局農政部畜産課
要望問題名 抗菌性物質の代替品を用いた飼養管理技術の研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 家畜の成長促進を目的として、ブロイラー、子豚及び子牛用の飼料添加物として利用されていた硫酸コリスチンについては、平成30年7月1日以降、飼料添加物としての利用が禁止されている。これは、人用治療薬への薬剤耐性等のリスク評価に基づき、農林水産省が管理方針を示した結果である。今後も、同じように家畜用抗菌薬の規制が強化される可能性があることから、抗菌性物質に頼らない代替品の研究が望まれる。 そこで、安全・安心な畜産物の供給にむけて、抗菌性物質の代替品を用いた飼養管理技術について研究を進めてもらいたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) ②牛：省力化を担保した丈夫な乳用後継牛を育成する高度哺育プログラムの開発 (H30～R2) ④牛：酪農にける減投薬飼養管理技術の開発 (H18～20) ④豚：乳酸菌給与による離乳子豚のストレス緩和に関する研究 (H27) ④豚：香料添加による子豚飼料の嗜好性改善および豚の生産性向上に関する研究 (H29) ④鶏：黒麹発酵飼料の添加が発育に及ぼす影響 (H27)、初期栄養管理技術の向上 (H29)			
対応の内容等 牛では代用乳への抗菌性物質の添加が禁止されており、抗菌性物質の代替えとして、生菌剤やオリゴ糖を用いた試験を過去に実施しており、発育は同等という結果を得ています。現在、中鎖脂肪酸を利用した健全な哺育管理について試験を実施しています。 豚での抗菌性飼料添加物の代替物については、生菌剤、着香料（ハーブ）の利用については過去に当所でも試験を実施したほか、有機酸の利用についても他県などから試験成績が報告されています。しかし、これら代替物単独では、抗菌性飼料添加物と同等の成長促進効果を得ることは難しいという結果となっています。 肉用鶏では、生産性の向上を目的とし、麹発酵飼料やプロテアーゼ製剤の添加試験を実施しましたが、添加による成績向上はみられませんでした。他県ではシンバイオティクス、生菌剤を用いた無投薬飼育について、検討されています。 今後とも新規性のある代替物と、それを利用した飼養管理方法の情報収集をするとともに、情報提供に努めます。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			